

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	からだと疾病Ⅰ						授業形態		講義	
科目コード	307000	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山口 昌俊								ICT活 用	
授業概要	本授業の目的は人体の構造（解剖学）を学ぶことである。 人体の構造（解剖学）と機能（生理学）を理解し、将来、管理栄養士として、医師、薬剤師、看護師等との医療チームに加わるために必要な基本的知識の習得を目指してほしい。 病院での実務経験のある教員により、医療現場で授業で学修したことが、どのように生かされるかを説明する。たとえば、患者が上腹部痛を訴えていても、上腹部にどのような臓器があるかを理解していないと、正しく診断ができないことになる。 特に「からだと疾病Ⅰ」では解剖学を中心に講義する。解剖学は医療に携わる者にとって最低限の必要な基礎知識であり、今後習得する臨床科目の基本となる大切な科目である。									
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：特になし 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅱ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ・Ⅱ									
授業の進め方 と方法	はじめに前回の内容を理解しているかどうかを確認するために、小テストを行う。次に前半の授業内容を簡単に説明する。課題により、DVDを見ながら、グループワークを行う。その後、グループから代表をランダムに指名し、前の白板に課題の解答を記載してもらい、課題の理解度を確認する。配布レジメがある場合はユニバを利用して配布する場合がある。講義に対する質問はユニバを利用して連絡してもらう。									
授業計画 【第1回】	1 骨格系 骨の形状、主要骨格									
授業計画 【第2回】	2 筋肉系 筋の形状、骨格筋、平滑筋、心筋									
授業計画 【第3回】	3 消化器系 口腔、食道、胃、小腸、									
授業計画 【第4回】	4 消化器系 大腸、肝臓、膵臓									
授業計画 【第5回】	5 循環器系 心臓、動脈、静脈									
授業計画 【第6回】	6 血液系 血液、止血機構、リンパ系									
授業計画 【第7回】	7 呼吸器系 肺、気管、気管支、喉頭、鼻腔									
授業計画 【第8回】	8 泌尿生殖器系 腎臓、尿管、膀胱、男性生殖器、女性生殖器									
授業計画 【第9回】	9 内分泌系 下垂体、甲状腺									
授業計画 【第10回】	10 内分泌系 副甲状腺、副腎、									

授業計画 【第11回】	1 1 神経系 中枢神経
授業計画 【第12回】	1 2 神経系 末梢神経
授業計画 【第13回】	1 3 感覚器系 眼、耳、鼻、味覚器
授業計画 【第14回】	1 4 皮膚 皮膚の構造、汗腺
授業計画 【第15回】	1 5 疾患に伴う病理変化 炎症、細胞死、腫瘍
授業の到達目標	①体の構造（解剖学）および代表的な疾患について理解する。【知識・理解の獲得】 ②特に重要である生理学の用語について理解する。【知識・理解の深化】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	【予習】次の授業内容について教科書の「構造」の部分を読んで来ること。（1時間程度）
授業時間外学習【復習】	【復習】その日に講義されたプリントの括弧内の語句を覚えてくること。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	小テスト、最終試験は採点后、返却します。
評価方法・基準	講義終了後、定期試験期間中に試験を行い、60点以上で合格とする。
テキスト	はじめての解剖生理学 一講義と実習一 金澤寛明 著 （南江堂）
参考書	生体のしくみ 標準テキスト 第3番 新しい解剖生理 高松研、堀内ふき 著 （医学映像教育センター）
備考	